



**対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ブラック・リバー公立高校校舎建築計画」
引渡式**

2021年11月12日、セント・エリザベス県に位置するブラック・リバー公立高校において、対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ブラック・リバー公立高校校舎建築計画」の引渡式が実施されました。

藤原大使は、挨拶の中で、日本は、人間の安全保障の理念に基づき「すべての人に質の高い教育」の機会を提供し、持続可能な開発を推進するため、教育分野の支援に取り組んでいることを強調しました。さらに、新校舎建設により、生徒達が目標に専念し彼らの夢を実現するための手助けになることを願っていると述べました。

同校は、膨大な生徒数（1704名）により止むを得ずシフト制を取り入れていたにもかかわらず、教室及び授業時間不足に直面しており、学習環境が整っていない状況にありました。本事業を通して4つの教室と職員室で構成された新校舎が建設されたことにより、学習環境が改善され、生徒達が良質な教育を受けられるようになります。

本式典には、ウィリアム教育・青年大臣、フロイド・グリーン国会議員、ローマーズ校長等、学校関係者、報道関係者などが参加しました。関係者からは中等教育環境の改善に向けた期待が表明されました。



1. 生徒による歓迎のパフォーマンス



2. 藤原大使からの挨拶



3. ウィリアムズ教育・青年大臣からの挨拶



4. ガスリー同校理事長(左)と藤原大使(右)



5. 式典後の新校舎視察風景



6. リボンカットの風景